

新

緑

矢嶋 翼・木村 司・金澤 俊・竹田 秀泰  
宇多 春美・板谷 良久・喜多 新二・山谷 芳則



翼 矢嶋 議員

★苦東高への理数科・英語科設置が、学力向上と街の活性化に繋がると提案し、市長は街づくり全体と言っ意味で大変重要な取り組みと認識しており、時代のニーズは英語外国語・理数科教育なのは事実。しっかりと計画を立てて取り組んでいかなければと答えました。

★災害時の自衛隊派遣要請の件で令和元年の台風19号で断水した神奈川県山北町が、給水車出動を県と自衛隊両方に要請したところ、先に到着した自衛隊を、優先順は県にあると町が判断し、自衛隊を帰す事件があり、苦小牧も同様となるのかとの問いに、自衛隊とは日頃から密に連携を図っており、市民最優先の対応をすると答えました。



司 木村 議員

★令和3年度の予算について、市の見解は、コロナ禍の現在、国の財政計画の縮減や市の税収の減少

が見込まれ大変厳しいと予想されるが、財政基盤安定化計画で示されている主要事業の40億円の確保を目指したいと答弁がありました。

★コロナ時代の成長戦略については、従来の労働集約型の工場誘致から、テレワーク時代のオフィス誘致など、視点を変えた成長戦略の構築を求めました。

★行革プランの課題と今後の取組については、総合窓口の開設など市民サービスの充実が図られてきています。ウィズコロナ時代の厳しい財政を見据え、一層の行革を進めることにより、財政健全化への貢献を求めました。



俊 金澤 議員

★児童虐待「ゼロ」に市民の皆さんで決意を！今回、令和3年1月からの施行に向け「子どもを虐待から守る条例」の素案が示されました。これまで本市は児童虐待防止に向けさまざまな取り組みを行ってきましたが、児童相談所分室との児童相談複合施設の開設に合わせて、あらためて市全体で児童

虐待防止に取り組む決意を示す形となると思います。将来を担う全ての子どもたちが、「将来こんなことがしたい！」「大人になったらこんな夢を実現したい！」と笑顔で語ることができるようまことにしていきたいものです。



秀泰 竹田 議員

★近年、市営墓地用地の返還が増加傾向と無縁墓化を増やさないために「墓じまいの助成制度」を創設できないのか質問し、早ければ令和3年度より、墓じまい費用を借り入れの際の利子と保証料を負担する想定で金融機関と調整中と答弁がありました。★消防施設の充実で「女性消防職員の増」を質問し、国からの指導で令和8年まで比率を5%に引き上げることが目標に努力していくと答弁がありました。

★27年間「消防団員の報酬」が改定されていないが、最近の情勢を鑑み改定できないのか質問し、改定当時と物価や社会情勢、消防団活動に大きな違いがあるため早急に検討したいと答弁がありました。



春美 宇多 議員

★市の児童虐待防止対策は、要保護児童対策地域協議会においてさまざまな関係機関との連携で取り組まれ、令和元年5月に「いぶり・ひだか児童家庭支援センターしずく」が加わりました。児童福祉法に規定される相談援助機関で北海道から委託を受け運営。その内容は、保護者の子どもの関わり方などに関する支援、施設から虐待を受けた子どもが家庭に戻る際の支援などです。これまでも「子どもたちが家族や地域から愛情を感じて、自分を大切に生きていくことができるまちづくりを一緒に目指していきたい」と一人ひとりに向き合う支援は温かく、多くの家庭に繋がるよう期待したいです。



良久 板谷 議員

★行政監査により、指定管理者制度の運用について調査され、施設管理に関するノウハウの低下や、